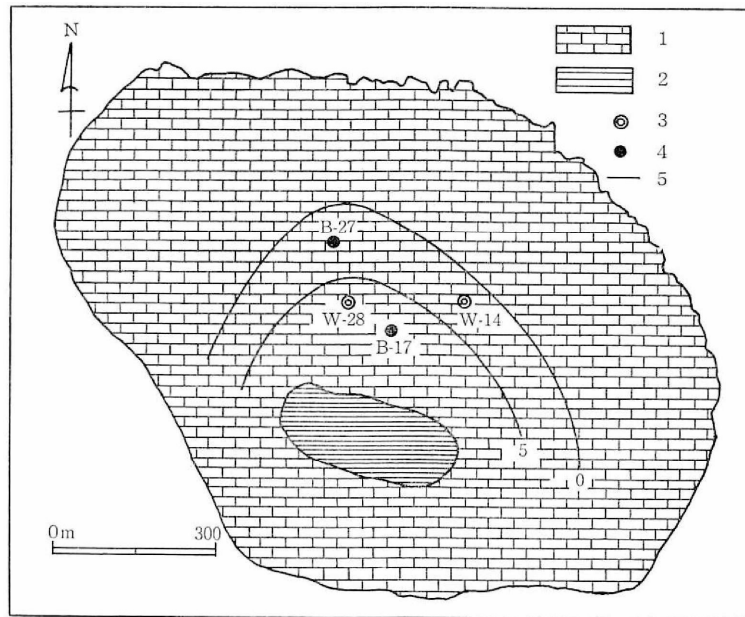


地形・地質

小浜島は西表島の東2kmの海上にあり、面積8.3km<sup>2</sup>の小島です。島の北半分は丘陵地形で変成岩類が分布します。南半分は凝灰岩、角礫凝灰岩などの第三紀火山岩類からなり、台地状の地形を形成します。鳩間島は西表島の北約4kmの海上にある面積約1km<sup>2</sup>の小島で、主に琉球層群の石灰岩が島を覆い台地をつくっています。

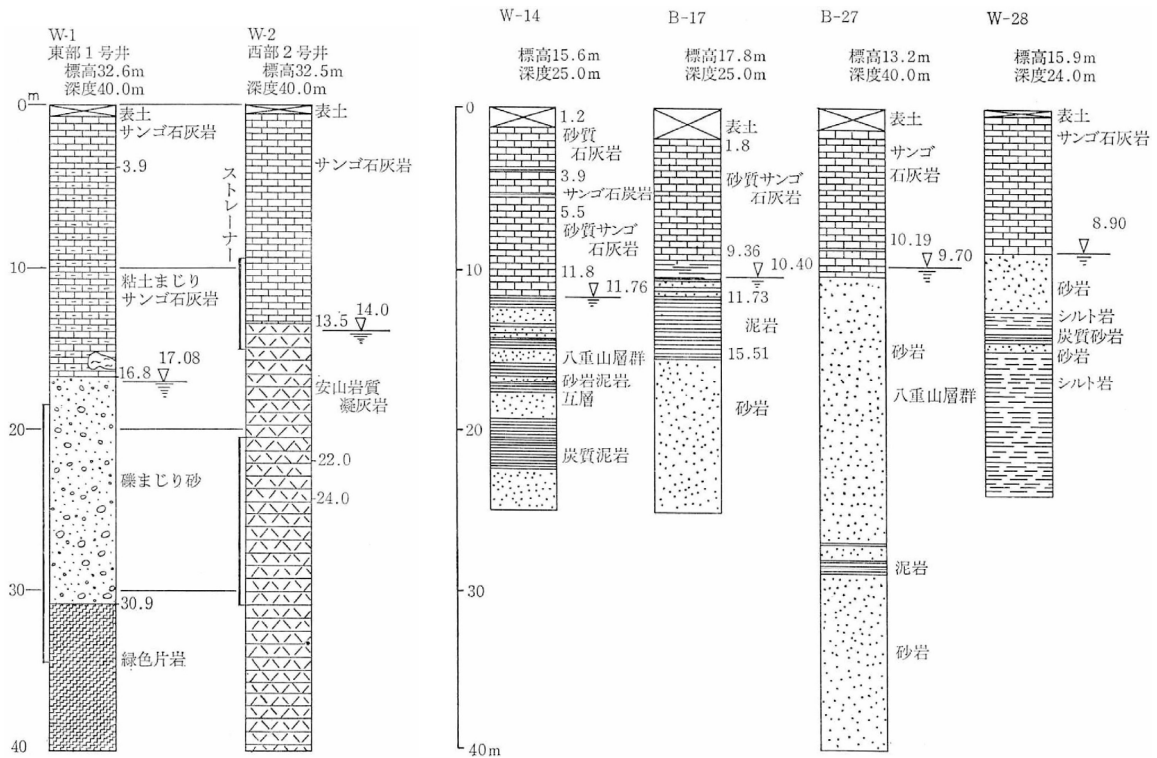


1. 琉球層群 2. 八重山層群(砂岩泥岩互層)  
3. 試掘井 4. ボーリング 5. 基盤岩等高線(m)

鳩間島の水文地質図

## 地下水

小浜島の地下水は、一部に基盤の変成岩類や火山岩類、主に琉球石灰岩や沖積層に賦存しています。鳩間島の地下水の利用は、降雨を受ける器も小さく、帯水層となる石灰岩の貯留機能も小さいとみられ、量的にはほとんど期待できません。



地質柱状図（左図：小浜島、右図：鳩間島）

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）